

エコアクション21 環境経営レポート

活動期間 2020年2月1日～2021年1月31日



発行日 2021年6月10日

改定日 2021年6月16日

株式会社スリーC

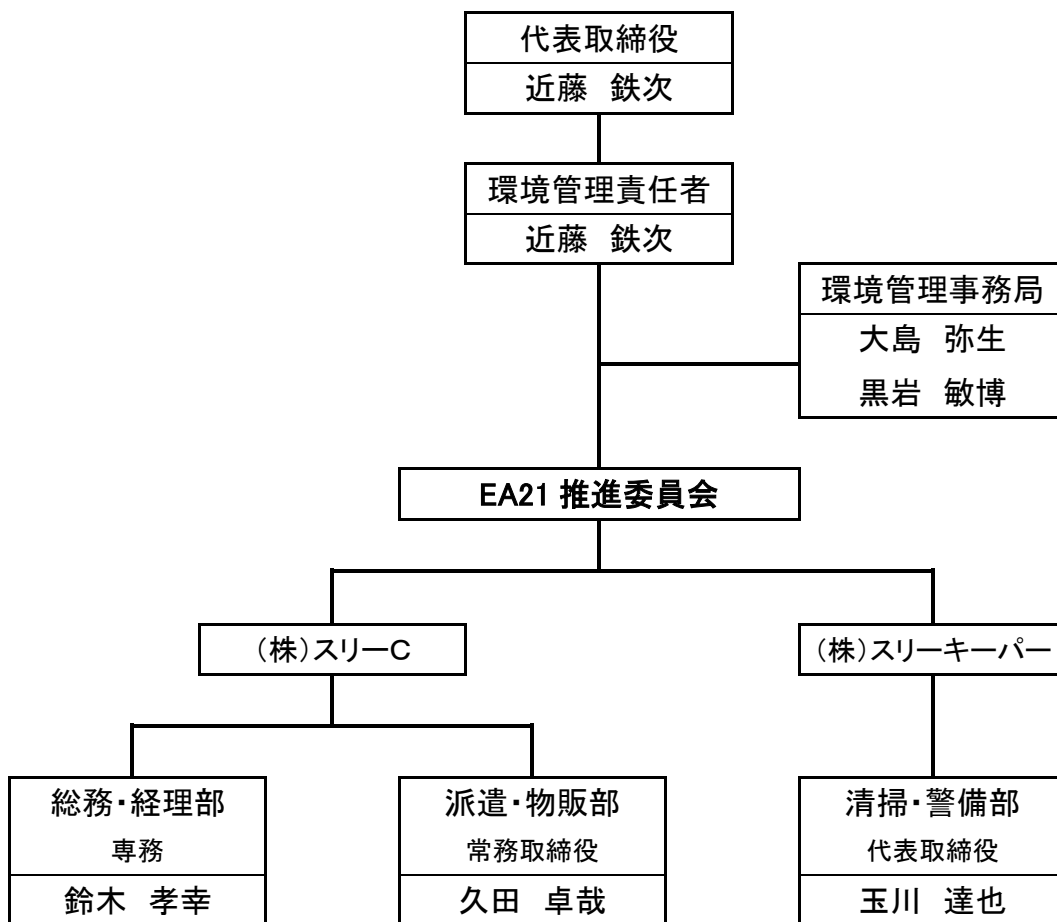
目次

| | |
|----------------------------|-------|
| 1. 組織の概要 | 3-4 |
| 2. 対象範囲 | 5 |
| 3. 環境経営方針 | 6 |
| 4. 環境経営目標等 | 7 |
| 5. 環境経営計画 | 8 |
| 6. 環境経営目標等の実績 | 9 |
| 7. 環境活動取組結果の評価と今後の取組 | 10-11 |
| 8. 環境関連法規制等遵守確認及び結果、訴訟等の有無 | 12 |
| 9. 代表者による全体評価と見直しの結果 | 13 |
| 10. 環境経営目標等（次年度以降の目標） | 14 |

1. 組織の概要

- 1) 代表者 代表取締役 近藤 鉄次
- 2) 事業所名 株式会社スリーC
株式会社スリーキーパー
- 3) 所在地 株式会社スリーC
愛知県名古屋市名東区猪高町上社字井堀25-1
株式会社スリーキーパー
愛知県名古屋市名東区上社四丁目168 サンシャイン上社103
- 4) 会社概要 株式会社スリーC
創立年月日 2006年12月25日
株式会社スリーキーパー
創立年月日 2018年3月1日
- 5) 敷地面積 株式会社スリーC 399.96平米
株式会社スリーキーパー 47.5平米
- 6) 総床面積 株式会社スリーC 170.46平米
株式会社スリーキーパー 47.5平米
- 7) 社員数 株式会社スリーC 15名
株式会社スリーキーパー 48名
(2021年1月15日現在)
- 8) 事業内容 派遣業、清掃業、警備業、清掃用品・清掃器具の販売及びレンタル、
日用雑貨販売、軽貨物運送業
- 9) 環境管理責任者 環境管理責任者 近藤 鉄次
担当者及び連絡先 担当者 大島 弥生
電話番号 052-703-1451 FAX052-703-1864
メール yohshima@tcoop.or.jp

10) 推進体制



| | 役割・責任・権限 |
|------------|--|
| 代表取締役(近藤) | <ul style="list-style-type: none"> ・環境管理システムの総責任者 ・環境方針を定める ・環境管理責任者を任命 ・資源(人員・設備・費用)の準備 ・全体の評価と見直し |
| 環境管理責任者 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育の実施・環境目標及び環境管理システムの承認 ・実施状況の確認 ・環境経営レポートの確認 |
| 環境管理事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ・文書の作成・管理 ・システム運用上の事務管理 ・環境経営計画実施の実績集計 ・環境経営レポートの作成 |
| EA21 推進委員会 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動の推進・提案 ・従業員への環境経営方針の周知 ・教育・訓練の実施 |
| 全従業員 | <ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解・取り組み |

2. 対象範囲

- 1) サイト 全組織・全活動
- 2) 事業内容 派遣業、清掃業、警備業、清掃用品・清掃器具の販売及びレンタル、
日用雑貨販売、軽貨物運送業
- 3) 社員数 63名
- 4) 環境活動レポートの対象範囲
活動は2020年2月～2021年1月を対象期間として、環境経営レポ
ートをまとめた。
環境経営レポートは次年度の5月末までに作成予定とする。

3. 環境経営方針

基本理念

株式会社スリーCは、創造 (Creative) 協同 (Coop) 挑戦 (Challengeship) の3つのCで、警備・清掃・派遣業及び、日用雑貨・清掃用品等の販売、レンタルを行っています。その業務を通じて、迅速、丁寧、安心のサービスをお客様へ提供し、社会の発展に貢献する企業です。ますます深刻化する地球温暖化への対応や有限である資源の有効利用にむけて、お取引様とのつながりを活かして、環境経営システムを構築し、継続的改善を進めることにより地球環境との調和と保全をはかります。

基本方針

- 1) 環境関連法規と顧客の要望を遵守して事業活動を展開します。
- 2) 電気や化石燃料の使用及び資源の効率的活用により、温室効果ガスと廃棄物の継続的削減に努めます。
- 3) 環境に配慮した洗剤の購入、消耗品のグリーン調達と、環境にやさしい商品の開発、販売に努めます。
- 4) 環境意識向上と取組強化のため、社員教育や調査、研究、啓発活動に努めます。
- 5) この方針及び取組を社内外に開示し、環境保全意識の向上に努めます。

制定日 2014年7月23日

改定日 2019年7月17日

代表取締役 近藤 鉄次

4. 環境経営目標

| | | 単位 | 基準値 | 目標 | | |
|-----------------------|---------|----------------|--------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | | | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
| | | | | 2019.2~ 2020.1 | 2020.2~ 2021.1 | 2021.2~ 2022.1 |
| 二酸化炭素排出量の削減 | 電力使用量 | kWh | 23,995 | 23,755 | 23,515 | 23,275 |
| | | kg-CO2 | 12,381 | -1% | -2% | -3% |
| | ガソリン使用量 | リットル | 3,509 | 3,404 | 3,369 | 3,334 |
| | | kg-CO2 | 8,147 | -3% | -4% | -5% |
| | 軽油使用量 | リットル | 1,300 | 1,261 | 1,248 | 1,235 |
| | | kg-CO2 | 3,412 | -3% | -4% | -5% |
| 二酸化炭素排出量合計(kg-CO2) | | | 23,940 | 23,471 | 23,232 | 22,992 |
| 一般廃棄物量の削減 | | kg | 176.1 | -1% | -2% | -3% |
| | | | | 174 | 173 | 171 |
| グリーン購入の推進 | | % | 27 | 全体の50%以上 | 全体の50%以上 | 全体の50%以上 |
| 水使用量の削減 | | m ² | 46.5 | -1% | -2% | -3% |
| | | | | 46 | 45.5 | 45 |
| 廃プラスチックから作られたゴミ袋の販売推進 | | 箱 | 209 | +8% | +10% | +10% |

*二酸化炭素排出係数は中部電力の平成24年度0.516kg-CO2を使用

*産業廃棄物は排出実績なし、今後発生した際は適切に処理する

*PRTR法に該当する化学物質は使用していない

*グリーン商品はアスクルより購入

*事務用品購入総額の中で、グリーン商品金額の割合を算出し基準値とした

5. 環境経営計画

環境目標達成の手段として以下の活動を行う

■電力使用量の削減 責任者:大島

- ・エアコンの温度管理(夏 28°C、冬 20°C)
- ・エアコンフィルターの定期清掃
- ・照明、パソコン不要時の消灯

■ガソリン・軽油使用量の削減 責任者:黒岩

- ・エコドライブの実施
- ・不要な荷物を載せない
- ・オイル、空気圧の定期点検
- ・走行記録管理
- ・現場移動時の相乗り

■一般廃棄物の削減 責任者:大島

- ・ごみ分別の徹底
- ・コピー裏紙の使用
- ・両面、集約での印刷

■水使用量の削減 責任者:黒岩

- ・節水に努める
- ・ホースノズルを取り付ける

■グリーン購入の推進 責任者:大島

- ・可能な限りグリーン商品の購入

■廃プラスチックから作られたゴミ袋の販売推進 責任者:杉浦

- ・販売数を把握(1回/月)

6. 環境経営目標等の実績

| | 目標 | 単位 | 基準値 | 2020年度 目標 | 2020年度 実績 | 達成 率 | 評価 |
|-------------|-----------------------------------|----------------|--------|--------------|--------------|---------|----|
| 二酸化炭素排出量の削減 | 電力使用量の削減 *基準値より-2%削減 | kWh | 23,995 | 23,515 | 19,525 | - | - |
| | ガソリン使用量の削減 *基準値より-4%削減 | リットル | 3,509 | 3,369 | 4,553 | 74% | × |
| | 軽油使用量の削減 *基準値より-4%削減 | | 1,300 | 1,248 | 1,316 | 95% | × |
| | 排出量合計 | kg-CO2 | 23,940 | 23,232 | 24,035 | - | - |
| | 一般廃棄物量の削減 *基準値より-2%削減 | kg | 176.1 | 173 | 175.6 | 99% | × |
| | グリーン購入の推進 *購入額全体の50%以上 | % | 27 | 50以上 | 54 | - | ○ |
| | 水使用量の削減 *基準値より-2%削減 | m ² | 46.5 | 45.5 | 55 | 83% | × |
| | 廃プラから作られたゴミ袋の 販売推進 *1箱200枚入 | 箱 | 209 | 230 | 216 | - | × |

*二酸化炭素排出係数は中部電力の平成24年度0.516kg-CO2を使用しています。

*達成率は目標/実績としています。

7. 環境経営計画の取組結果の評価と今後の取組

| 環境目標 | 評価 | 結果 |
|-------------|---|------|
| 電力使用量の削減 | 敷地内建物の新築に伴い、電力の引込区分が変更となったため、使用量の把握が2020年8月分までとなった。来年度より子会社のみで基準値設定をし、目標達成を目指す。本社の数値目標はなくなるが、節電活動を継続する。 | - |
| | | - |
| | 今後の取組: 目標値変更 | |
| ガソリン使用量の削減 | 本社の新規事業取組(ゼコーメンテナンス)のため、他県への移動が増え大幅に使用量が増加した。農業部門で使用する軽トラックも導入され、今後もこれ以上の使用が予測されるため目標値の変更を行う。 | × |
| | | 26%増 |
| | 今後の取組: 目標値変更 | |
| 軽油使用量の削減 | 使用量増加となり、目標未達成となった。毎年数値が横ばいに近いが、少しずつ削減できるようエコドライブの啓発を促す。 | × |
| | | 5%増 |
| | 今後の取組: 継続 | |
| 二酸化炭素排出量の削減 | 電力のデータ収集が把握できず、明確な数値が出なかった。ガソリン・軽油と併せて目標値を再確認し、削減に向けて取り組んでいく。 | - |
| | | - |
| | 今後の取組: 目標値変更 | |
| 一般廃棄物の削減 | 微増となった。子会社共にごみの増減があまり見られない。意識を持って削減の努力をする。 | × |
| | | 1%増 |
| | 今後の取組: 継続 | |

| 環境目標 | 評価 | 結果 |
|-------------------|--|-----------|
| グリーン購入の推進 | 目標達成となった。今後もグリーン商品を優先的に購入するよう心がける。 | ○ |
| | | 購入額の50%以上 |
| 今後の取組: 継続 | | |
| 廃プラから作られたゴミ袋の販売推進 | 今後さらに販売推進に努める。 | × |
| | | 今後の取組: 継続 |
| 水使用量の削減 | 子会社の排水管にズレが生じ、異物が詰まりやすい状態ということが確認された。水を多めに流し、詰まりを解消するようにしているため使用量が増加してしまった。今後も多量使用が予測されるため目標値の変更を行う。 | × |
| | | 17%増 |
| | 今後の取組: 目標値変更 | |

8. 環境関連法規制等遵守状況確認及び評価の結果、訴訟等の有無

| No. | 法令等の名称 | 該当 | 遵守 |
|-----|---|-------------------------|----|
| 1 | 廃棄物処理法 ・産業廃棄物等の適正な処理及び資源化の促進に関する条例 | 一般廃棄物の排出 (当該期間に産廃なし) | ○ |
| 2 | 名古屋市環境保全条例 ・市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例 | アイドリングストップ等 | ○ |
| 3 | 家電リサイクル法 | エアコン、洗濯機、 冷蔵庫 | ○ |
| 4 | 自動車リサイクル法 | 自動車の廃棄 | ○ |
| 5 | 資源の有効な利用の促進に関する法律 | パソコン・コピー機 | ○ |
| 6 | フロン排出抑制法 | エアコン | ○ |

遵守評価日：2021年1月31日

上記環境関連法について、遵守状況チェック表により法規を遵守している事を確認しました。
また、過去3年間、地域住民からの苦情や、関係各機関から特に指摘・指導はなく、訴訟は1件もありませんでした。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2020年度は、「チェンジ&チャレンジ2年目」をテーマとし、昨年からスタートした「農業」「ゼコーメンテナンス事業」の2年目として、基盤を確立し、成長させる段階に入りました。

農業では、初めて国産加工用トマト300苗を入植し育てました。これは株式会社コーミに納入され、ケチャップ等の材料となります。また農業ボランティア制度を取り入れ、農業体験や農業就労者支援を実施しました。コープあいちより排出された生ごみを「横根バイオマス発電」に搬入し、作られた堆肥を約2t受け入れ、循環型農業を目指しました。

株式会社ゼコーの「RO水アピュア」メンテナンス事業を立ち上げ、東海地区店舗に設置してあるウォーターサーバーのメンテナンスを、定期・不定期含め、機械の点検及び故障に対応する事業を開始しました。

コロナ禍で、社員の健康を第一に、消毒、健康管理を強化しました。事業では、アルコール販売、巣ごもり需要で、レンタルモップ、ウォーターサーバー水の利用が増大しました。スリーC・スリーキーパー共に、増収増益、過去最高を達成しました。

事業規模が2社で過去最高となる中で、エコアクション21の取組では、目標がほぼ未達成となりました。

とりわけガソリンについては、東海地区全域に対応するゼコーメンテナンス事業がはじまり、月に20~30か所を車で回り、農業では日進市とコープ・農協のお店往復が続き、目標値より126%増となりました。

目標値の変更とエコ運転の更なる意識付けが必要となります。

2021年度のテーマは「ネクストステージ スタート之年 チャンスをつかんで前へすすむ」です。

コープあいちとの新しい提携を模索します。特に農業・警備・派遣分野で雇用の受け皿を構築します。

エコアクション21では、会社の成長に見合った目標値へと変更し、達成に向け推進します。農業部門では、プラスチック資材から天然資材への変更、節水対策に取り組みます。商品販売部門では、在庫の整理整頓、洗剤・アルコールの管理徹底、レンタルモップの普及等、取り組みをすすめています。

その中で、スタッフの成長、挑戦をひろげ、さらなる前進を勝ち取っていきます。

2021年6月10日
代表取締役 近藤鉄次

10. 環境経営目標（2021年度以降の見直した目標）

| | | 単位 | 基準値 | 目標 | | |
|-----------------------|----------------|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| | | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 |
| | | | 2020.2~ 2021.1 | 2021.2~ 2022.1 | 2022.2~ 2023.1 | 2023.2~ 2024.1 |
| 二酸化炭素排出量の削減 | 電力使用量 | kWh | 2,515 | -1% | -2% | -3% |
| | | | | 2,490 | 2,465 | 2,440 |
| | ガソリン使用量 | リットル | 4,553 | -1% | -2% | -3% |
| | | | | 4,507 | 4,462 | 4,416 |
| 軽油使用量 | リットル | 1,316 | -1% | -2% | -3% | |
| | | | 1,303 | 1,290 | 1,277 | |
| 二酸化炭素排出量合計 | kg-CO2 | 15,097 | -1% | -2% | -3% | |
| | | | 15,098 | 14,795 | 14,644 | |
| 一般廃棄物量の削減 | kg | 176 | -1% | -2% | -3% | |
| | | | | 171 | 169 | 167 |
| グリーン購入の推進 | % | 54 | 全体の50%以上 | 全体の50%以上 | 全体の50%以上 | |
| 水使用量の削減 | m ³ | 55 | -1% | -2% | -3% | |
| | | | | 54 | 54 | 53 |
| 廃プラスチックから作られたゴミ袋の販売推進 | 箱 | 216 | +10% | +10% | +10% | |

*二酸化炭素調整後排出係数は、中部電力ミライズ(株)2019年度 0.452kg-CO2/kWh を使用

*PRTR 法に該当する化学物質は使用していない

上記の様に基準値を再設定し、新たな目標とします。